

主な事業

セキュリティ診断事業、キッズプログラミング事業、
情報技術に関する調査・研究・教育・指導・啓発事業



世の中を変えるパワーを持つ テクノロジーで 世界に通用する鹿児島に一。

(NPO法人鹿児島インフアーメーション 理事長:森邦彦さん)

活動のきっかけ・想い

ICTで鹿児島をもっと暮らしやすく

スマートフォンやパソコンの飛躍的な普及に伴い、インターネットは社会の基盤となりました。また、教育分野においてもプログラミング教育の必修化、ギガスクール構想など改革が進み、これからの社会で、ICTは欠かせないものとなることは必至です。そこでICTを活用する全ての現場や分野において調査・研究・教育・指導・啓発などの活動を行うNPO法人鹿児島インフアーメーションの理事長・森邦彦氏に話を聞きました。

「2006年の設立当時、都道府県別のICT普及率において鹿児島県は最下位でした。私はこれまでNECでの勤務経験や大学のコンピューターシステムの維持・管理など、ICT関係にずっと携わってきましたから、鹿児島がICT後進県であることをどうにかしなければならぬと考えました。自論ですが、鹿児島県民は他の県から比べたら、生のコミュニケーションや地域で行う催しも多いですよね。だからあまりインターネットの必要性を感じていなかったのではないのでしょうか。

設立当時も今も思っていることですが、ICTは世の中を大きく変える原動力になると思っています。そこで、鹿児島県でICTを普及させることを目的としたNPOを立ち上げました。

また、もう1つのきっかけとしては2004年にNPO法人渋谷・鹿児島文化等交流促進協議会からの依頼で、「ITシンポジウム」を開催したことです。そこからIT関連の産学交流が開始されましたが、産学の温度差や認識の錯誤の問題が生まれ、その変革は容易ではありませんでした。そこでタイムリーな情報交換とフットワークの良い行動手段を模索した結果、NPO法人に辿り着いたのです。

法人名は、畑に種を植え、水を撒いて育てるように、鹿児島で情報社会を育てたい、インフォメーションテクノロジー(IT)を普及させたいという想いのもと、情報=インフォメーション、農場=ファームをかけて、鹿児島インフアーメーションと名付けました。ちょっと凝りすぎたかもしれませんが(笑)」

当初は設立のきっかけの1つとなったシンポジウムを数多く行いました。自分たちの技術を世の中の人たちにもっと使って欲しいと考えているIT企業や、オープンな環境でIT技術の構築を目指す企業とのシンポジウムです。また、ICTを普及させるには、セキュリティ問題は避けられません。当時、JSA(日本セキュリティ協会)が経済産業省と一緒に全国各地で市民向けのインターネット安全教室を開催していたのですが、鹿児島ではうちがやりましょうということになり、市民向けのインターネット安全教室もやっています。

また、「鹿児島ホームページ大賞」というコンテストを約11年前からやっています。今年からはコンテスト名を「ICT」に「e」をつけて、「鹿児島ICTel(アイシテル)大賞」に変更し、より多くの市民の方に知っていただきたいと思っています。コンテストの構成は、元々は鹿児島の情報を発信しているホームページを持つ企業を表彰していましたが、今は情報発信部門だけではなく、役立つアプリやオープンデータの有効活用事例などを表彰するアイデア部門、そしてICTを使って地域を活性化している個人や団体を表彰する地域活動部門の3つの部門があります。

さらに、最近では小学校でのプログラミング教育の必修化にも伴い、キッズプログラミングコンテストをやったり、高校生に毎年ICT関連のテーマを決めて議論してもらう高校生ICTカンファレンスもやっています。ICTを使って「世の中をもっとこうしたらいいんじゃないか」という提言をしてもらっているのですが、今年はオンラインで開催で「新しい生活様式とICT活用法～行動制限の時代に生きる～」というテーマでグループごとに提言してもらい、最も優れた提言をしたグループに、全国大会に出してもらいました。全国大会でもさらにディスカッションして、最終的な提言を総務省や経済産業省でプレゼンテーションする予定です。



今後の課題と展望

鹿児島から日本をリードするために

これまで幅広い活動を行ってきて、ICTの普及率としてはある程度目標を達成したのではないかと考えています。設立当初は東京と鹿児島でICT普及の格差はかなりあったと思いますが、今は地域によって少し格差は残りつつも、鹿児島市をはじめとする都市部においては東京とほぼ変わらないと思います。しかし、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、さらにICTの必要性が高まり、日本がICT後進国であることが浮き彫りになりました。日本自体が世界と比べて遅れています。今後は、遅れている鹿児島をなんとかしようではなく、鹿児島から日本をリードするような方向に持っていきたいと思っています。例えばホームページの多言語化の積極的な支援もその1つです。英語や中国語に翻訳されたホームページを持つ企業はまだ少ないですよ。そういったことから1つ1つ、積極的に進めていきたいと考えています。

NPO法人 鹿児島インフォメーション 団体概要

● 理事長：森邦彦

● 設立年：2006年

● 会員数：個人57名、法人22



● 連絡先：090-5749-4488

● mail：jim@infarmation.org

● ホームページ：

● https://infarmation.org

